



(題字 : 6年 川井美乃)

令和3年6月17日

No.62号

山形市立第四小学校
校長 日高 伸 哉

<児童数 196名>

TEL 623-6019

～ 6 / 15 (火) 全校朝会・校長講話から～

“ぜんこう善行・めだかめだか・ソサイエティSociety 5.0”

(こころ) (レッドリスト) (ドローン)

振替休日を経て、明るく元気な「いちょうの子どもたち」が笑顔で登校してきました。梅雨前ですが、夏のような雲とかなりの日差しです。体育館に整列している「いちょうの子」の額には汗も見えます。8:30分から、今年度2回目の全校朝会(校長講話)を行いました。テーマは「未来に向かい、より善く生きる」です。

大きく3つの話をしました。キーワードは、「善行(…こころ)」「めだか(…レッドリスト)」「Society 5.0(…ドローン)」です。

以下、その内容です。



おはようございます。3つのことをお話します。

1つ目は、「嬉しいお電話」をいただいたことです。

4年生きずな学年のおたよりを読んでみます。

【2日(水)の夕方、地域の民生委員の方からお電話を頂きました。「大手町のごみ置き場にあったごみが、道路に広がるほどカラスに荒らされていたのを、四小の4年1組の女の子3人が掃除をしてくれました。その姿を見て感動しました。」という内容でした。

次の日、掃除をした二葉(いけだ ふたば)さん、香菜(いしかわ かな)さん、柚生(しづや ゆずき)さんに話を聴きました。ごみはドーナツや食べ物のかす、生ゴミがあり、見ているだけで嫌だなと思ったそうです。通る人も避けて通っているのを見て柚生さんは、「このままだと、住んでいるみんなの気持ちも嫌になる」と考え、二葉さん、香菜さんに声をかけ、ごみ収集所にあったほうきを使って掃くことにしました。香菜さんは「嫌だなと思ったけど、やらないとな。」、二葉さんは「汚いけど、ほっとくわけにはいかないな。」と考え、3人で片付けをしたそうです。そんな3人の姿を見ていた、民生委員の方が家からゴミ袋などを持ってきて一緒に片付けを手伝ってくれたそうです。】

校長先生は、3人の尊い行い(善行)に、心がほかっと温かくなりました。皆さんはどうですか。3人に拍手!ですね。大きな大きな拍手をお願いします。

さらに、4年1組のお友達は、3人の話を聞いて、「ぼくなら見逃しそう。勇気があっていいなと思いました。」「そのままにしただけど、自分から拾おうとしたことがすごいなと思いました。」「ぼくは、あまりやりたくないけど、何日もそれを見ているのも嫌だなと思うから、きれいにしたいです。」「そのままにしておくともっと嫌な気持ちになるから、周りの人のために行動できてすごいなと思いました。」と話しているんです。善い行いをした人のことをしっかりわかる人も、これまた^{とうと}貴いことです。大きな拍手をお願いします。「いちょうの子」の成長を嬉しく思います。

2つ目です。「めだか」のお話です。

第四小には、めだかがたくさんいます。めだかの種類は、世界で200種ぐらいです。校内の5カ所にめだかが住んでいますよ。どこかわかりますか？

- 1) 6年教室（ひめだか・・・5年生の学習で卵からかえしましたね）
- 2) 理科室（ひめだか・・・前校長先生の奥様が卵からかえしました）
- 3) 玄関ホワイトボード下（日本メダカ（キタノメダカ）・・・グッピー園の高橋明社長（第四小卒業）さんよりいただきました！）
- 4) 中庭「つながりガーデン」の池（日本メダカ（くろめだか））
- 5) キャプテンルーム（ひめだか・・・6年生の学習で分けてもらい卵からかえしました）

日本メダカは、絶滅危惧種（レッドリスト）に指定されています。めだかの寿命は平均で1年と少しくらい（自然環境下）と言いますが、3～5年の個体もいます。1年で卵を産むようになります。キャプテンルームのひめだかは、卵から^{ひん}孵化して1年。先日、卵を産みました。命の循環を感じます。生きものを育てることは、優しさを育てることになります。大切に育ててゆきましょうね。

3つ目は、これからの社会「Society（ソサエティ）5.0」についてのお話です。

皆さんが学習している「プログラミング」に関わります。皆さんは、「ドローン」を知っていますか。実際にドローンを飛ばしてみましよう。ただ飛ばすのではなく、プログラムを組んで飛ばしてみます。

近い将来、コンピュータを使い、こういった「プログラミング」を活用して、機械を自動で動かせる時代が「あたりまえ」になることでしょう。知恵を働かせ、ワクワクする時代を、みんなで創ってゆきたいですね。夢をもってより善く生きる。人との関わりを大切にして、小さな命をも視野に入れ、テクノロジーを駆使して「より善く生きる」「みんなで生きる」そういう時代を創造してゆきましょう。そのためには、「いちょうの子ども（心の豊かな子ども・健康でたくましい子ども・意欲的に考える子ども）」をしっかりと意識して学んでゆかなければなりません。皆さんで、力を合わせてともに歩んでゆきましょう。お話を終わります。

